

第 54 回 全国ミニバスケットボール大会 出場報告書

佐波男子バスケットボールクラブ
保護者代表 河合祐子

私たち佐波男子バスケットボールクラブは、3月30～31日に開催された第54回全国ミニバスケットボール大会に山口県代表として出場しました。佐波男子としては、12年ぶりに県大会優勝をし、24年ぶり4回目の全国大会出場となりました。

昨年は5年生主体のチームで県大会を戦い、決勝まで勝ち進みましたが、決勝で末武に僅差で敗れて全国を逃しました。今シーズンは丸山コーチが監督をする最後の一年であり、昨年の主力メンバーの多くが最上級生ということもあり、今シーズンに懸ける思いは強かったです。そんな中、無事に県大会を勝ち進み、全国大会の切符を手に入れました。

佐波男子は、神奈川県、高知県、岩手県のグループになりました。

3月30日(木) 初戦は神奈川県代表 山内ミニバスケットボールクラブです。

選手達は初めて経験する全国大会で、しかも代々木第一体育館とい大きな体育館でゲームに、明らかに緊張が見てとれ、いつもの佐波のバスケットが出来ませんでした。

結果は、42対56での敗戦となりました。前半は緊張しながらも競ることが出来ましたが、後半は自滅する形で離されてしまいました。

チーム数も多い神奈川県を勝ち進んだチームだけに、サイズ、ディフェンスの強度、シュート力は流石と言うべきものでした。欲を言えば、初戦で当たらなければもっと良いゲームが出来たかと思います。

同日に行われた二戦目の相手は、高知県代表 高知大津ミニバスケットボールクラブです。

一戦目で全国大会の雰囲気にも慣れ、二戦目はゲーム序盤から佐波らしいバスケットが出来ました。それでも前半は24対23の1点差の接戦となりましたが、後半ディフェンスで相手を9点に抑えることができ、結果57対32で圧勝することが出来ました。

翌日3月31日(金)に行われた三戦目は、岩手県代表 平泉 GOLDEN KID'S ミニバスケットボール少年団でした。

大会最終日、小学校最後の一試合ということもあり、子供達は朝から気合が入っていました。全てのクォーターを6点以内に抑え、最終的に42対19で圧勝することが出来ました。チームのスタイルである、ディフェンスから走るバスケットがチーム全員で表現することができ、エントリーメンバー全員が出場することが出来ました。

山口県代表として出場した全国大会は、2勝1敗という結果で終わりました。
全国大会で自分達のバスケットが通用することを実感した子供達は、ひと回りもふた回りも成長したように見えました。この全国大会での経験を自信に、別々の中学校に進んでも、さすが佐波の卒団生と言われるような頑張りをして欲しいと思います。

最後に、全国大会出場に当たり、各種手続きにおいて山口県バスケットボール協会の方々には大変お世話になりました。

また全国大会においても、コロナが終息していない中での開催に当たり、大会関係者の方々には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。